



duomo…イタリア語で町一番の教会という意味です。弊社がお客様や地域の人たちから親しまれ必要とされ町一番の会社になれるようにとの願いを込めてこの名前に決めました。

長かった梅雨もようやく終わり夏の暑さが戻ってきます。いつもならこの時期、夏の夜空を彩る花火大会が各地で行われるのでしょうか、今年は、コロナの影響で、軒並み中止のようです。上のイラストのように、川べりに座って、家族や友人と一緒に花火を眺めるといったことが、懐かしく思えます。どこの国の政治家も、経済を優先したく、制限を緩和していますが、穏やかな気持ちで花火を見る事ができる日が早く来てほしいものです。(-"-)

## 「山下の家」 高気密高断熱住宅 ecozy house エコジー・ハウス



エコジーとは、エコロジーとコウジーを組み合わせた造語です。  
《エコロジー》人間と自然環境との関係を考え、《コウジー》居心地の良い《ハウス》家

えびすやが目指している家づくりを一言で言い表すならどんな言葉かを考えて創った言葉です。

言い換えれば、

「環境負荷が少なくて、なるべく自然素材を使った、使い勝手が良くデザイン的にも優れた家」とも言えます。

左上の写真は、現在建築中の基礎の配筋工事の写真です。

周りに白く見えるのは、50mmの断熱材です。

建物をスッポリと断熱材で覆ってしまいます。

また、この建物の耐震等級は3で、建築基準法で定められた基準の1.5倍までの地震力に耐えることができるよう設計されています。居心地の良さは、しっかりととした安全性のもとになります。



下の2枚の画像は、完成した時のイメージCGです。

間口が狭く奥行きの長いわゆるウナギの寝床形状の敷地ですが、建築家のデザインによってかえって個性豊かな住まいとなっています。

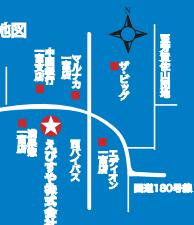
性能とデザインは、時には相反する場合もありますが、お施主様の意向と照らし合わせながら、折り合いをつけながら最終のプランを決めていきます。

デザインについては、アトリエ建築家やインテリアコーディネーターとコラボして毎日の生活の中で、心がときめくような空間が存在する家を作りたいと考えています。

耐久性についても、長期優良住宅の認定を受け、子や孫の世代まで受け継がれていくような住まいを目指しています。

昨年、研修で行ったスペインでは、セカンドハウスを持っている国民が多いとのことですが、これは、住宅の寿命が100年200年と長ないので日本のように現役世代が住宅ローンで生活を圧迫されなくて済むからだそうです。その分をセカンドハウスや、他の生活費に充てられるからだと聞きました。

日本もやがてそうなるといいですね。(^^)/



ご連絡先



086-284-6170

えびすや建築工房

TEL. 086-284-6170 E-mail. [Info@ebisuya-net.co.jp](mailto:Info@ebisuya-net.co.jp)  
FAX. 086-284-6175

こちらから無断でお問い合わせすることはございません。